

2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年11月10日

上場会社名 Chatwork株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4448 URL https://go.chatwork.com/ja/

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長上級執行役員CEO (氏名) 山本 正喜
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上級執行役員CFO (氏名) 井上 直樹 (TEL) 050(1791)0683

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け) (百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	4,613	39.3	△226	—	△675	—	△680	—	△680	—
2022年12月期第3四半期	3,312	43.1	△295	—	△474	—	△471	—	△445	—

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 △697百万円(—%) 2022年12月期第3四半期 △472百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	△16.98	—
2022年12月期第3四半期	△11.26	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損益であるため、記載しておりません。

2. EBITDA=営業損益 + 減価償却費及び無形固定資産償却費 + 株式報酬費用

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	5,970	2,318	38.5
2022年12月期	5,400	2,869	52.4

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 2,295百万円 2022年12月期 2,831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,451	40.4	△116	—	△716	—	△725	—	△711	—	△17.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

詳細は添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	40,288,718株	2022年12月期	39,941,702株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	18,325株	2022年12月期	2,223株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	40,082,161株	2022年12月期3Q	39,605,489株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についての注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実績の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(企業結合等関係)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「働くをもっと楽しく、創造的に」というミッションのもと、人生の大半を過ごすことになる「働く」という時間において、ただ生活の糧を得るためだけではなく、1人でも多くの方がより楽しく、自由な創造性を存分に発揮できる社会を実現することを目指し、仕事の効率化や創造的な働き方を実現するサービスの開発・提供に取り組んでおります。

このようなミッションのもと、現在の主力サービスであるビジネスチャットツール「Chatwork」は国内中小企業を中心とした顧客企業の労働生産性の向上や働き方の多様性を提供しており、国内利用者数N01（注1）のサービスとなります。中長期のビジョンとしてこのビジネスチャットの中小企業市場における圧倒的なシェアを背景に、あらゆるビジネスの起点となるビジネス版スーパーアプリとしてプラットフォーム化していく事でさらなる中小企業のDX化に貢献してまいります。

当第3四半期連結累計期間においては、引き続き「Chatwork」の普及とビジネスチャットのプラットフォームを活かした周辺サービスの拡大に投資をおこなってまいりました。価格改定によるARPUの上昇、2023年2月に連結子会社化した株式会社ミナジによる人事労務領域へのサービス拡張など事業は順調に進んでおります。2023年6月にはBPaaS（注2）の新規自社サービスとして「Chatwork アシスタント」をリリースしており、さらなる事業拡大を目指してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,613,647千円（前年同四半期比39.3%増）、EBITDA（注3）226,376千円の損失（前年同四半期は295,460千円の損失）、営業損失675,955千円（前年同四半期は474,852千円の営業損失）、経常損失680,668千円（前年同四半期は471,311千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は680,770千円（前年同四半期は445,933千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は次の通りであります。

(Chatworkセグメント)

売上高は4,462,052千円（前年同四半期比42.3%増）、セグメント損失は715,167千円（前年同四半期は527,530千円のセグメント損失）となりました。

なお、当セグメントが当社の主力事業であり、本社機能も含めて各間接費の全てが当セグメントの維持・拡大のために費やされていることから、間接費の全額を当セグメントにおける費用として計上しております。

Chatworkアカウント事業のARR（注4）、課金ID数、ARPU推移

	2020年12月期 第4四半期	2021年12月期 第4四半期	2022年12月期 第4四半期	2022年12月期 第3四半期	2023年12月期 第3四半期
ARR（百万円）	2,279	3,447	4,425	3,986	5,871
課金ID数（万）	45.7	54.7	66.8	60.6	72.4
ARPU（円）	409.9	529.4	547.4	539.3	627.4

(セキュリティセグメント)

セキュリティセグメントについては、引き続き当社としては積極的な事業拡大は行わない方針としております。その結果、売上高は151,594千円（前年同四半期比14.7%減）、セグメント利益は39,212千円（前年同四半期比25.6%減）となりました。

なお、当セグメントのセグメント利益については、前述のとおり間接費を全てChatworkセグメントにて計上していることから、当セグメントの売上高より当セグメントに要した広告宣伝費、販売促進費及び業務委託費等の直接経費のみを控除した金額を計上しております。

(注) 1. Nielsen NetView 及びNielsen Mobile NetView Customized Report 2023年5月度調べ月次利用者（MAU:Monthly Active User）調査。調査対象はChatwork、Microsoft Teams、Slack、LINE WORKS、Skypeを含む44サービスをChatwork株式会社にて選定。

2. Business Process as a Serviceの略。ソフトウェアの提供ではなく、業務プロセスそのものを提供するクラウドサービスであり、クラウド経由で業務アウトソーシング（BPO）が可能

3. EBITDA=営業損益+減価償却費及び無形固定資産償却費+株式報酬費用

4. Annual Recurring Revenueの略。毎年継続して発生する収益 MRR (Monthly Recurring Revenue、毎月繰り返して得ることのできる売り上げ) の12倍

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて569,736千円増加し、5,970,123千円となりました。これは主に、のれんが773,758千円増加、ソフトウェアが382,768千円増加、投資その他の資産が366,808千円増加、現金及び預金が1,154,793千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて1,121,650千円増加し、3,652,105千円となりました。これは主に、長期借入金が402,289千円増加、契約負債が348,885千円増加、1年内返済予定の長期借入金が164,128千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて551,914千円減少し、2,318,017千円となりました。これは主に、資本金が72,738千円増加、資本剰余金が72,738千円増加、利益剰余金が680,770千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は38.5%(前連結会計年度末は52.4%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期は、Chatwork価格改定によるARPUの上昇、子会社含む周辺サービスの売上拡大により当期の全体売上高は前連結会計年度比40.4%、Chatworkセグメント売上高は同43.3%と高い成長を見込むものの、前回開示したレンジを下回る見通し。営業利益は12月より黒字となる見込みです。

業績予想修正の要因としては、①ビジネスチャットの価格改定後の想定単価の見込み違い、②価格改定後の課金ID数の下振れ、③グループ会社の売上下振れによるものです。単価(①)はユーザー毎に契約日に違いがある影響で一部の価格改定日が想定より後ろにずれただけのため、見込みとの差異が発生いたしました。ただし来年7月の価格改定終了時のARPUは当初の想定通りの見込みでございます。課金ID数(②)は、昨年のフリープラン制限変更及び今回の価格改定による需要の先食いの影響もあり、見込みとの差異が発生しましたが、足元は回復傾向にございます。グループ会社売上下振れ(③)に関しては、売上拡大に向けた体制構築を優先させたためであり、今後の事業進捗は順調と想定しております。いずれの要因も来期に向けて解消する見込みであり、中期経営計画の達成に向けて順調に進捗している状況に変化はございません。

業績見通しの詳細は下記の通りでございます。また、同日開示している2023年12月期第3四半期決算説明資料も参照ください。

(単位:百万円)

	2022年12月期 実績	2023年12月期 予想	前年同期比
売上高	4,593	6,451	+40.4%
Chatworkセグメント	4,368	6,262	+43.3%
売上総利益	3,187	4,125	+29.4%
売上総利益率	69.3%	63.9%	△5.4pt
EBITDA	△468	△116	-
営業利益	△719	△716	-
経常利益	△724	△725	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△687	△711	-

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,850,323	1,695,530
売掛金	307,867	409,514
前払費用	690,402	773,763
その他	71,376	31,318
貸倒引当金	△72	△260
流動資産合計	3,919,898	2,909,867
固定資産		
有形固定資産	29,652	11,750
無形固定資産		
ソフトウェア	248,580	631,349
のれん	285,326	1,059,084
その他	626,677	701,012
無形固定資産合計	1,160,584	2,391,446
投資その他の資産	290,251	657,059
固定資産合計	1,480,488	3,060,256
資産合計	5,400,387	5,970,123
負債の部		
流動負債		
未払金	327,445	308,042
未払費用	137,443	187,259
未払法人税等	32,160	21,205
契約負債	995,838	1,344,723
賞与引当金	21,600	21,788
短期借入金	—	2,200
1年内返済予定の長期借入金	102,000	266,128
その他	115,712	110,199
流動負債合計	1,732,200	2,261,547
固定負債		
長期借入金	763,500	1,165,789
繰延税金負債	34,754	152,352
退職給付に係る負債	—	2,417
その他	—	70,000
固定負債合計	798,254	1,390,558
負債合計	2,530,455	3,652,105
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,622,024	2,694,762
資本剰余金	2,607,884	2,680,622
利益剰余金	△2,398,796	△3,079,566
自己株式	△88	△88
株主資本合計	2,831,023	2,295,729
非支配株主持分	38,908	22,287
純資産合計	2,869,931	2,318,017
負債純資産合計	5,400,387	5,970,123

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
売上高	3,312,984	4,613,647
売上原価	985,318	1,709,126
売上総利益	2,327,666	2,904,520
販売費及び一般管理費	2,802,519	3,580,476
営業損失(△)	△474,852	△675,955
営業外収益		
受取利息	24	93
為替差益	17,299	—
助成金収入	—	2,497
ポイント収入額	—	6,526
雑収入	2,181	302
営業外収益合計	19,505	9,419
営業外費用		
支払利息	4,669	11,739
為替差損	—	145
株式交付費	9,855	506
その他	1,439	1,741
営業外費用合計	15,963	14,132
経常損失(△)	△471,311	△680,668
特別利益		
固定資産売却益	461	—
特別利益合計	461	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	24,000
特別損失合計	—	24,000
税金等調整前四半期純損失(△)	△470,849	△704,668
法人税、住民税及び事業税	4,578	4,407
法人税等調整額	△3,066	△11,685
法人税等合計	1,512	△7,277
四半期純損失(△)	△472,361	△697,390
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△26,427	△16,620
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△445,933	△680,770

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△472,361	△697,390
その他の包括利益		
四半期包括利益	△472,361	△697,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△445,933	△680,770
非支配株主に係る四半期包括利益	△26,427	△16,620

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	Chatworkセグメント	セキュリティセグメント	計	
売上高				
一時点で移転される財	128,407	177,675	306,083	306,083
一定の期間にわたり移転される財	3,006,901	—	3,006,901	3,006,901
顧客との契約から生じる収益	3,135,309	177,675	3,312,984	3,312,984
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,135,309	177,675	3,312,984	3,312,984
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,135,309	177,675	3,312,984	3,312,984
セグメント利益又は損失(△)	△527,530	52,677	△474,852	△474,852

(注1)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(注2)当社における主力事業はChatworkセグメントであり、本社機能も含めて間接費の全てがChatworkセグメントの維持・拡大の為に費やされていることから、間接費の全額をChatworkセグメントにて計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計 (注)
	Chatworkセグメント	セキュリティセグメント	計	
売上高				
一時点で移転される財	168,270	151,594	319,864	319,864
一定の期間にわたり移転される財	4,293,782	—	4,293,782	4,293,782
顧客との契約から生じる収益	4,462,052	151,594	4,613,647	4,613,647
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,462,052	151,594	4,613,647	4,613,647
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	4,462,052	151,594	4,613,647	4,613,647
セグメント利益又は損失(△)	△715,167	39,212	△675,955	△675,955

(注1)セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(注2)当社における主力事業はChatworkセグメントであり、本社機能も含めて間接費の全てがChatworkセグメントの維持・拡大の為に費やされていることから、間接費の全額をChatworkセグメントにて計上しております。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2023年2月1日に行われた株式会社ミナジンのとの企業結合について、第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第3四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い取得原価の当初配分額を見直した結果、顧客関連資産が増加したこと等により、暫定的に算定されたのれんの金額1,141,717千円は、285,717千円減少し、856,000千円となりました。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。